

＜杵築市＞令和6年度 学校評価の4点セット（自己評価・学校関係者評価）

学校名

杵築市立大田小学校

3学期

実態	学力状況		学習・指導の状況	いじめ・不登校の状況	体力の状況		
	各種調査結果	■R6年4月 各種学力調査の結果 4年…国語 市を上回り、全国を下回る。 算数 市を上回り、全国も上回る。	■「大田小学習のきまり」に則り落ち着いた学習ができています。 ■相手の方を向いて聞くことが定着している。 ■発表意欲がある。他者の発言を聞いている感想や意見を発表する力がついてきている。 △児童と教師が①同じ見通しをもつ②問いをもって学ぶ③他者の問いかけに反応する④学びを生かすといった学び方を身につける。 △自律・自立した学習者の取組の推進。	■小規模校であることから、全校遊び集会等の全校で行う活動を多く取り入れており、学年関係なく全児童が日々仲よく過ごしている。 ■人間関係づくりプログラムやソーシャルスキルトレーニングを定期的に行い、子ども同士のよりよい人間関係づくりを目指している。		運動愛好度	R6全国値以上種目数
		6年…国語 県を上回り、全国を上回る。 算数 県と同ポイントであり、全国を下回る。			男子	平均100%	28/40
					女子	平均100%	24/40
					■1校1実践（1学期：輪車、2学期：マラソン、3学期：縄跳びを全校で取り組んでいる。） ■少人数なので平均値比較だけでなく個に応じた指導をしていく。 ■R6のデータからは、握力が男女とも上回っている。長座体前屈や50m走の強化が必要である。		

学校の教育目 ふるさとを愛し 進んで考え行動する 大田っ子の育成	能力 育成を 目指す 資質・	重点目標：めざす児童生徒像			達成指標	資質 能力	担当	重点的取組				取組指標 誰が・何を・頻度	取組 評価	達成状況の確認		考察・改善								
		知識 技能	思考 判断 表現	学び 人間性				重点的取組						根拠	評価									
								「読む・書く・話す・聞く・計算する」力を身につける	他者と関わり、課題を見つけ、よりよく解決できる力の育成	基礎的・基本的な知識・技能の習得	主体的に考え、行動できる態度の涵養		めあてを持ち、進んで学ぶ			①単元末テスト（国・算・理）思考判断表現で、児童一人一人の目標値達成が91%以上 ②児童アンケート「「知りたい!」「やってみたい!」「やろう!」という思いを持って、学習に取り組んだと回答する児童85% ③＜長期＞ 市独自の学力状況調査（思考判断表現）において、校内の正答率の平均が、全国平均より上回る（4・5・6年） ④児童アンケート「授業等で、友達と話し合い、課題や問題に対する解決方法や答えを自分たちで見つけることができた」と回答する児童85%以上	研究主任 (知)	重点的取組	学力その他の取組	①集会の最後には、必ず感想発表の時間を設定する ○朝の時間におけるトレーニングタイムの実施（木曜日：国語、金曜日：算数） ○全校図書貸し出しデーの実施（毎週金曜日） 毎時間、ねらいに即した学びの必要感や必然性を持たせて、めあてや課題を設定する ※児童が主体となって取り組む活動を仕組んだり、授業の中で児童から出された発言や疑問などを元に課題を設定したりする。	S	①単元末テスト結果（思判表）【国・算・理の平均達成率82.2%：A】 ②児童アンケート肯定的評価：90%【達成率105%：S】 ③算数・理科が上回る【達成率66.6%：B】 ④児童アンケート肯定的評価：100%【達成率118%：S】	A	①児童一人一人が目標値を見直し、目標値を前回より上げたことにより、達成できなかった児童がいる。2学期の目標値であれば、達成できていた児童が複数いる。 ③調査結果の分析を踏まえた改善策を中心に、補充学習に取り組む。
杵築市の今日的課題：重点目標	ICTの効果的活用（頻度）	児童アンケート「タブレットを使った国語の授業は、考えやすかったり分かりやすかったりした」と回答する児童80%以上	ICTを活用した授業の充実	国語において、単元構想の段階でICTの活用場面と活用方法を必ず明確にし、授業を行う。	S	児童アンケート：100%（達成率：125%：S）	S	取組継続。																
担 当								重点的取組				評価	考察・改善											
家 庭								わが子の生活・健康課題について、毎日取り組みカードへの記入を親子で行い、取組を振り返る				A	1ヶ月に一度“けんこうカード”の取り組みを実施											
地 域 （学校運営協議会）								安心安全支援チーム				地域の方が見守り活動をする。（毎月第3金曜日の全校登校指導等）				A	計画通り実施。							
								体験活動・学力向上支援チーム				「大田の子ふるさと学習（地域人材活用授業）」の計画を踏まえ、積極的に支援・協力する				A	ふるさとづくり協議会代表と学校で、来年度の「米づくり」「いもづくり」について目的と支援内容について共有した。							

※ 取組状況評価（ S：100%超 A：80～100% B：80%未満 ）

※ 達成状況評価（ SS→S SA→A AA→A SB→A AB→B BB→B ）